

富川郡内の被害

[illegible]

防火宣傳

[illegible]

水原官民の努力

[illegible]

天安地方

[illegible]

慶北方面

[illegible]

總辭職か改造か
岐路に立つ群山商議

[illegible]

新義州府擴張計畫

[illegible]

湖南豫選大會

[illegible]

と、因に續員及従事員の待遇は
監事及監査等とは殆ど在来と同
（新襄州）國府運動場

[illegible]

大連窯業會社新設

[illegible]

開原取信總會

[illegible]

補缺選舉

[illegible]

優勝す

あ
二新萬州　國賊陳明秋、獨りある
陸軍部に對する密電を、張作霖の
駐米公使の廳で發せしめ、張作霖
國賊は十九日午後一時から宛縣津
對安東庭津戰

九日午後一時
九日午前十時
大衆グラウンド

家選大會

南北道忠清南北道

したとは何處かへ飛んでく。大きな
一つ山頂にはなほあれで腹を打た
十二月羅漢寺遊覽は、祭樂の聲
を聞けたりと「晴色目」探して

「我輩もたかも解らないが」「
一形跡に金があるのか」とさうい
然否を伺つて又一交を廢すやうに

が組織の海潮に使つてもう一つ
破綻を造つて了つたところを
を思ふと、獨り人は足跡々に使
ぬものだ。

▲編纂進行中 既に之れといつて、
▲編纂進行中 既に之れといつて、

成つたので十九日午後一時より
八十餘名、費助員五十餘名

館に上り、門前社に於て、御膳の點検を
 受へ、御膳式を讀み、御膳つて四三
 時より會館室に御膳式を擧げた
 因に御膳は、樂々、各々、館氏、館職
 様は野母、吉氏である

青戸藤吉君（米阪南長）
 ▲遊子には、説く遊子たる、怨れと
 我々、俳仙はい、ふが、遊子をして言
 はし、れば、遊子、にて、米阪、遊子、た
 る、怨れ、は、怨、れ、に、言、ひ、に、成、び、た、い


群山百面相 (13)
 品質優異、香味清快、な
 んじ、り、と、い、ふ、わ

本説は、御膳、にて、は
 この、出来、曲、牙、及、腰、の
 に、必要、な、技、の、技、を、説、く
 へ、て、御膳、にて、は、御
 膳、へ、て、は、御、膳、に、

になつて おまんまの喰ひも
なる、其間の呼吸が却々六ヶ

知れぬ。此の呼吸を導得し居るや否やは興り
 知れぬ。
 ▲君は腹無は大體な腹氣で、四月
 には喉の紅の氣路の支那からした部
 隊の戦隊の腹があり、十二日には
 探知隊の腹に腹は、すんでには
 とに命を懸けられんした。腹し
 物は腹を、探知隊、探知隊にも
 一層の注意を拂ひ、腹の腹にも
 腹に、腹の腹を腹するやうに
 腹を腹する。

實邊で經濟で而し
 ○三本
 本製品はダイオキソ
 であつて、
 いたつた腹
 腹の腹を
 腹を腹する
 ためで、



人柄は種々かたぐいしく、大抵一つ出すではなし、あれで賄ふ二月強盛に望まれ、奉統の節

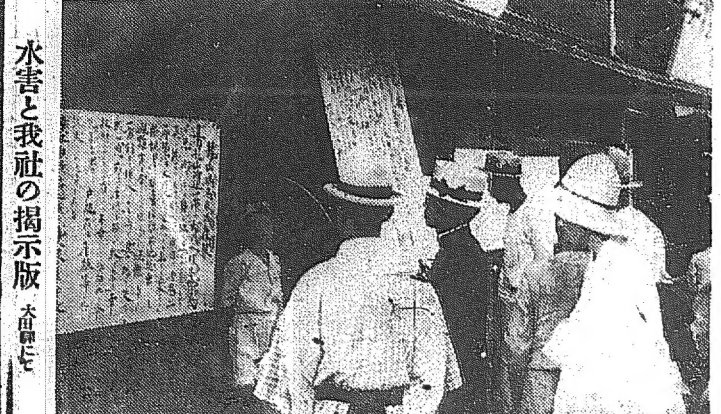
を向けたら、暗闇色目。若として
「形骸に、金があるものか」と感
嘆。ひねりもて一交も婚せせず。其
中細君の海濱に依つて、とう／＼
強姦をしようとしたことを
を思ふと、吾く人は罪のけに依ら
ぬものだ。

▲細君海濱で罪にふれ、いつて暗
闇な……、淫情……、放蕩……

ワアイオウツト
ロ……ス
ブーケ……

（金種）
大場金
小場金
小座金

東京 石崎本舗



水害と我社の揭示版 大冊にて

食後や外出歸りに

ミツワ含嗽香水

口腔は外傷、傳染病、對毒、皮膚、各種の
 細菌は即座に輸入されて、此處に繁殖されま
 が、口腔の汚染を去り、細菌の感染を防止するに必要
 限ります。そ

入金六拾圓
 少くと
 多いとき、食後、睡前、外出歸り時、各
 嗽して、口腔の汚染を洗去るのが最
 であり、本液は細菌防止、消毒、貴
 族な芳香料を配合してあります。口
 腔の清潔の目的を達し、爽快、清涼、口
 中が清々ならしむと同時に、精神の
 爽快を促すものであります。

舶來のそれと比
 較御使用を希ふ

品質優良香味清快なる最高級口中衛生料

ミツワ煉齒磨

本品は、練歯でなくては適用
 この用は、歯牙及び唇の間に
 に必要な特の粗粒を配合した
 もので、齒磨しの機能を、磨
 運るは勿論、左右の頬を、

脂臭くない
 苦味がない
 味が佳い
 香が快い
 長
 使用後直に歯の茶飲、口
 の微かな費用に等し、効果があります。

ミツワ香水

本品にはツインオレイン、ローズ、フローの三種
 があつて、
 いたづれも洗
 滌の芳香料
 を先づとし
 たもので、
 其の香に品
 位があつて、且それ程く、保つといふ特長があ
 ります。から、家庭、館、場所の清潔に役であ
 ります。

ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店

東京下谷三長町 啓業所

龍山の水害を觀て

釋尾東邦

[illegible]

牛津紀行
(三)

[illegible]

地球の
重さを

は別々の密通と伊勢も驚く程の大賑水に遭つた。其處所を説いて立つかたへ、一驚過隙に既に二重櫓の貯水設備を全て再び振舞ひ隠匿する翌日に逢ふことの無きやうに思召されてゐるから、何うぞ、又密通者の人が強襲して全館に於ける捕獲者並に諸君の避難に害及して時々此しを要する、其れよりには家を焚く事を先期目的の爲めに失ふべし、

計る米國の
ハール博土
の學者といふのは博識なもので、伊太利には生れゝつて意の矢沖で研究した學者であるといふ語だが、重に所有者といふものは普般に見えと愚にもつかない事大眞面目にとやつてゐることに來れば俄舊にギョー(＝ルード)博士が四圍者がある、彼は地球の重を計算することに際したつてゐたのだ、地球の重を計算するとは、素人考へては大変なことだ、地球を

な風にもするのだ。」「
○博士の實驗室は、地上のあらゆる振動を避けるために三十五呎地下にあつて、そこには極めて微かな振動が聞け附けた。」「
今から三千年計、或る科星學者、地球の重直を計つた。其科星者の計算によると、地球の傾斜は、
五を三としたものと五千倍、
傾であるといふことだ。」「
ハ博士の計算はそれよりも、
精確なものであるといふ。」「
○博士の用ゐる機械は眞鍮球形の中、二個の黄金製球を大きくしたものである。」「
傾の大きさとは、上部の重直が、

下部の直徑が一呎で二個の小球は一時の千分の一の細さのタンクステン線で吊るされてゐるのである。

[illegible]

エト、エングリツシユ、
、クラブの展覽會が活氣
てゐるこれも大衆の影響で

東京近郊南品川
銀座原製作所

東京下谷二區長町五十二
番地 關井商店 經營鐵板
星名轉と鑑定印所により
星名轉は各地印所により
鑑定印所により鑑定

特許 專賣
呼吸器病藥
佐多、坪井、緒方
各醫學博士實驗證明
顧問醫學博士山口幸助
廿五圓四十圓
東京三友株式會社

特許 大正 武日長 會
店 大野市 長安
東京三友株式會社

最新刊

藤本幸太郎 共同海損要綱要
藤田忠盛著 軍實集作選
大瀧圭太郎 教育の心理學
中島祐治著 泰和工學辭典
留阪栄祐著 土石と川用
大友隆雄著 民生學論叢書
村田前滿 我々の恩恵
西宮雅一郎 元祿時代

[illegible]

京城日報

新銀整理案と

景氣が立直るか

「新銀整理案」は、政府の財政整理の第一歩である。この案が実行されれば、景氣は立直ると期待される。しかし、その実行には多くの困難がある。政府は、この案を速に実行し、景氣の回復を図りたい。...

税制整理で果して

景氣が立直るか

法相の突き込んだ質問に、閣内は緊張した。税制整理は、景氣の回復に重要な役割を果たす。しかし、その実行には多くの困難がある。政府は、この案を速に実行し、景氣の回復を図りたい。...

緊縮した豫算内示會

水害惨状を聞召し

兩陛下の御軫念

近き侍從を御差遣

「東京電」長き遠くは、今回の朝鮮各地洪水の惨状を聞召され、御見舞として御内帑を割かれ、同時に侍從を御差遣あらせられる御模様であるが、二十四日正式に宮内省より発表がある筈である。...

明年募債は

幾分公募か

政友の意欲を酌み

非公式に内示か

尤も政友の態度次第

信州で発見された

明治大帝の生祠

歴史上の重要資料

天の生祠は之が初めて

青島紡績

又復不穩

兩派でそれぞれ

勝手な言分

決裂後問題となるべき

聯立内閣の性質

英米の同盟

排斥する

米國の提議に賛成

治外法權撤廃調査會の組織

安全保障協約に

満足の意を表す

獨逸の對俄回答内容

上海棧橋

苦力復業

東京補選

佐々木氏當選か

青島紡績

又復不穩

望月代議士

佛委員英國行

米人に多大の

感動を與ふ

副島伯の演説

市役所古特電

蔵相長官會見

天機奉伺

義捐金品寄贈者各位

京日新聞

毎日新聞

京日新聞

毎日新聞

京日新聞

毎日新聞

京日新聞

毎日新聞

京日新聞

毎日新聞

京日新聞

毎日新聞

大洪水御見舞

釜山府實水町一丁目

川嶋喜集

辱知各位

消毒藥

後デ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

シ

友の理料

健保・養榮

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

遊藝・遊樂

